

あそびまつりだより No.4

頌栄幼稚園

2020.9.18

9月から本格的に始まったのびのび遊び。沢山の道具が園庭に出ている中、何人もの子どもたちが興味を持っていた「ミニ綱」。ひとつの道具でも子どもたちの手にかかればいろいろな遊びに変身します！

サッカーゴールとミニ綱を使って作っているのはお家かな・・・？



トランポリンの上でお友だちと繋がりあっこ

年少組4人 VS 年長組1人
がんばれ～！！！！



来週の土曜日は、いよいよ親子運動遊び。お家の人とどんな遊びをしようかなあと年中組の子どもたちは心待ちにしながら考えています。その話の中で話に上がった綱引きを年中組でしました！

始まりの合図とともに一齐に各方面に散らばったミニ綱に走っていく子どもたち。

男の子対女の子で綱引きをするチーム、審判さんが真ん中に立って勝敗を決めるチームなどいろいろな戦い方が見られ、どのチームも綱引きに夢中でした。



ミニ綱で遊んだ後、みんなで分かち合いをしました。ひとりの男の子が、「長い方がみんなでできて楽しいよ！」と一言。幼稚園に長い縄もあったので早速みんなでやってみました。「ルールは決めずに楽しくやったらいいやん！」の声に全員が動き出しました。



ぐねぐねだよ～梅はこっち！桜はあっち！



スタート！！みんな力いっぱい引っ張っています！



審判も綱引きをできるの・・・？

ルールも審判も決めずに始まった大縄。気が付くと A 君が審判をしていていました。しかし、審判をやりながら大縄もやっている姿を見たほかの子どもたちが「それはおかしいよ！」とロク々に言いました。学年で話をしましたがなかなかみんなの意見が定まらず話し合いは持ち越しに。その日の降園前に桜組では話し合いをしました。「審判は綱引きしちゃダメ！」「勝ち負けを決める人だよ！」などいろいろな意見がでました。じゃあその勝ち負けはどうやって決めるの？と担任が問いかけると、「尻もちついたら負け！」「手を離したら負け！」というようにそれぞれ子どもたちによって考え方が違いました。話は持ち越しになり、それぞれ考えてこようということになりました。年中組の子どもたちの大縄はどのようになるのでしょうか・・・？今後の展開がとても楽しみです。